

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		河川課
	03	04	01	04	01	

政策
安全で安心して暮らせる川づくりの推進

政策の内容

激甚化、頻発化する水災害を踏まえ、国や県等をはじめとする流域のあらゆる関係者が協働して、ハード・ソフト一体となった「流域治水」の取組を推進します。
河川改修や雨水貯留施設等の整備を加速化するとともに、点検や巡視結果を踏まえた適切な維持管理により、浸水被害の軽減を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
防災性	あなたの暮らしている地域で、災害(地震や津波、豪雨、火災など)に対して危険を感じますか。	2.42	2.49				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

2024年3月に改訂した浜松市総合雨水対策計画2024に基づき、ハード・ソフト対策を含めた総合的な雨水対策を実行し、浸水被害の軽減を目指して取組を進めている。
大型台風の襲来や集中豪雨などによる増加する水害リスクへの対応や急傾斜地等におけるがけ崩れなど土砂災害への対応は喫緊の課題である。
関連部局が連携し、流域治水の一層の推進を図る必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	4,554,106				
決算	5,122,776				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	42.0				
会計年度任用職員	7.8				
暫定再任用職員(31時間勤務)	3.5				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

※中央、浜名、天竜土木整備事務所の人工を含む

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
河川改良事業	・市内一円の河川・排水路の改良事業 水害を防止するための河川改修や総合的な治水対策を実施する。治水対策のほか、景観や生態系の保全に配慮し、自然と調和を図った水辺環境整備の推進を図る。 ・雨水流出抑制施設の整備 学校の校庭や公園内に雨水流出抑制施設を整備し、河川等への初期流出量を軽減することにより治水安全度の向上を図る。	2,731,250
		3,329,007
河川維持修繕事業	・市内一円の河川・排水路の維持修繕 洪水による災害発生を防止、または発生した場合の被害を最小限とするため、既存の堤防、護岸やポンプ場等の河川管理施設がその機能を十分発揮できるよう定期的に河川管理施設の変状、老朽箇所等の点検を行い、必要な維持修繕を実施する。	1,082,044
		1,079,765
ポンプ場等維持管理事業	・ポンプ場等の適正な管理 雨水排水ポンプ場及び樋門等の日常管理と出水時の運転を行う。	208,785
		202,859
河川愛護支援事業	・河川愛護活動の支援 河川の清掃活動や景観保全活動など美しいまちづくりを推進することを目的として活動する団体に 対し、様々な制度等を通じて支援を行う。	39,108
		37,458
浸水対策支援事業	・市民自ら取り組むことができる浸水被害軽減対策の支援 浸水被害の軽減のため、河川改修などのハード対策と併せて、自助・共助の活動支援として、土のうステーションの設置などの浸水対策支援事業を推進する。	8,720
		8,719
港湾整備事業 (負担金)	・県が行う浜名港の施設改修に対する負担金 県管理浜名港の整備・維持管理事業への負担により、船舶の安全航行と災害防止を図る。	68,000
		66,518
都市下水路整備事業	・都市下水路の整備 市街地における浸水被害を防止・軽減するため、都市下水路の改修、維持管理を行う。	118,000
		147,249
急傾斜対策事業	・急傾斜地における対策の実施 市民の生命と財産を守るため、県と連携して急傾斜地の崩壊対策を実施するとともに、土砂災害警戒区域の指定、周知を行う。	170,800
		122,867

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
水防活動事業	・水防団の活動支援 台風や大雨などの水害による河川のはん濫や浸水被害の発生のおそれが出たときに水防活動を行う水防団の運営や活動支援を行う。	10,060
		8,780
水防施設等整備事業	・水防施設の維持管理 水防活動を行うための水防施設の維持管理及び水防資機材等の補充を行う。 ・水防倉庫の改築 老朽化した水防倉庫について、水防活動に必要な機能を備えた施設へ改築を行うことで、地域における水防防災力の充実と強化を図る。	111,039
		113,255
消防団員等公務災害補償共済事業(負担金)	・水防活動における被災補償に対する負担金 水防団員及び市民が水防活動中に災害を被った場合の補償掛け金を負担する。	2,720
		2,719
水防団助成事業	・水防団活動を支援するための交付金 水防活動が機能するように、水防本部及び同分団(17分団)の活動支援として交付金を交付する。	3,580
		3,580

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
河川改良事業による主要河川の整備延長(m)	主要河川(二級河川九領川、準用河川東芳川、準用河川有隣川)の河川改修工事が完了している延長の累計値	主要河川の改修工事による整備延長を測る指標であり、実績値の増加により、「河川改修の達成度」の指標の向上に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	3,335	3,640	3,945	4,250	4,555
			実績値	3,030	3,050				
			達成率	-	91%				
河川点検の実施延長(km)	浜松市が管理する二級河川及び準用河川において、5年に1回実施する河川通常点検の実施延長の累計値	河川点検により適正に維持管理されている河川延長を測る指標であり、実績値の増加により、「総合雨水対策計画における対策メニューの実施数」の指標向上にすると見込んでいる。	目標値	-	80.6	114.9	159	197.5	240.2
			実績値	42.7	80.6				
			達成率	-	100%				
ポンプ場点検の実施数(施設)	浜松市が管理する主要なポンプ場9箇所のうち、適正に維持管理を行い施設が正常に機能しているポンプ場数	ポンプ場の維持管理の状況を測る指標であり、目標値の達成により、「総合雨水対策計画における対策メニューの実施数」の指標向上に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	9	9	9	9	9
			実績値	9	9				
			達成率	-	100%				
土のうステーションの稼働数(基)	浸水対策支援事業において土のう袋の追加補充を行った基地数 ※2024年度は、行政機関7区役所(24基)、23自治体(61基)、計85基のうち46基に追加補充 ※2ヶ年ですべての土のうを更新する計画とし、1年あたり少なくとも43箇所以上の基地で実施。	土のうステーションの稼働状況を測る指標であり、目標値の達成により「総合雨水対策計画における対策メニューの実施数」の指標の向上に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	43	43	43	43	43
			実績値	46	52				
			達成率	-	121%				
都市下水路点検の実施延長(km)	都市下水路(暗渠)の管理延長に対する点検巡視を行った延長の累計値 ※2019年度より実施し概ね10年間(2028年度まで)で暗渠部43.4kmの点検を完了予定。	都市下水路点検により適正に維持管理されている都市下水路延長を測る指標であり、実績値の増加により「総合雨水対策計画における対策メニューの実施数」の指標の向上に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	34.9	39.9	41.7	43.4	43.4
			実績値	29.9	37.8				
			達成率	-	108%				
土砂法(土砂災害警戒区域)における区域指定の実績(箇所)	「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」による区域指定の実施件数	急傾斜地等において警戒区域の指定は市民へ避難行動計画を促すことによる防災意識の向上に寄与する	目標値	-	10	10	10	10	10
			実績値	14	0				
			達成率	-	0%				
水防施設(水防倉庫)の改修、修繕の実績(箇所)	「浜松市水防施設整備方針」による水防施設の改修、修繕の実施件数	水防における水防団活動の拠点整備をすることで水防機能の向上に寄与する	目標値	-	2	2	2	2	2
			実績値	1	2				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。



③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
河川改修の達成度(%)	主要河川(二級河川九領川、準用河川東芳川、準用河川有隣川)の河川改修工事の進捗率	本施策の内容に関し、河川改修を推進する必要があることから、本指標を設定した。主要河川の改修工事による進捗率を測る指標であり、実績値の増加により、「総合雨水対策計画における事業進捗率」の指標の向上に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	54.9	59.9	65.0	70.0	75.0
			実績値	49.9	50.2				
			達成率	-	91%				
総合雨水対策計画における対策メニューの実施数	浜松市総合雨水対策計画における重点対策エリアの対策メニュー140項目のうち、土木部が所管する87項目に対し、取り組んでいる対策メニューの項目数の累計値	本施策の内容に関し、総合雨水対策計画を推進する必要があることから、本指標を設定した。総合雨水対策計画において実施している対策メニューの項目数を測る指標であり、この指標の向上により、「総合雨水対策計画における事業進捗率」の向上につながることを見込んでいる。	目標値	-	70	73	76	77	80
			実績値	59	69				
			達成率	-	99%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
総合雨水対策計画における 事業進捗率(%)		浜松市総合雨水対策計画 における重点対策エリアの 対策メニュー144項目のう ち、土木部が所管する84項 目に対し、取り組んでいる対 策メニューの項目数の割合	実績値	68%	79%					100%
			達成率	68%	79%					
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

強靱で安定した道路、橋りょう、河川、上下水道等の社会基盤施設が市民生活を支えている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
河川改良事業	・準用河川東芳川において護岸改良工事を実施するなど、河川改修工事を進めた。また、二級河川九領川、準用河川有隣川において、河川改良工事のための用地買収を実施した。 ・二級河川九領川流域において、神原排水路調整池設置工事を実施するなど、雨水流出抑制施設の整備を進めた。	引き続き、総合雨水対策計画に基づき河川・排水路の改良や雨水流出施設の整備を実施し、浸水被害の低減を図る。
河川維持修繕事業	・雨水出水期前に、主要な河川の除草や堆積土砂の浚渫を実施した。 ・浜松市が管理する二級河川及び準用河川において、37.9kmの区間で河川点検を実施した。	引き続き、出水期前の除草や堆積土砂の浚渫や定期的な河川点検により、適正な施設の維持管理に努める。
ポンプ場等維持管理事業	・主要なポンプ場9カ所の点検や運転管理を行い、施設を適切に稼働させた。	引き続き、ポンプ場の点検や運転管理を行い、継続した施設の稼働に努める。
河川愛護支援事業	・河川愛護支援事業の拡充として草刈機の導入(リモコン式草刈機等6台)及び草刈機の貸出範囲を市内全域へ拡大した。 ・河川愛護活動に対する報奨金及び河川愛護団体への活動補助金の助成 ・河川美化、保全活動に対し河川愛護団体3団体の推薦、表彰した。	・草刈機貸出に関する貸出要綱の策定、草刈機増設の検討する。 ・報奨金の増額検討及び県補助金の要望する。 ・河川愛護団体等への表彰継続する。
浸水対策支援事業	・新たに市内4箇所(自治会管理型:新原・平口・海老塚、行政管理型:北部協働センター)へ土のうステーションを設置した。 ・既存の土のうステーションに対し土のうの補充を行った。	・地域要望に基づき、土のうステーションを増設する。 ・土のうステーションの適時補充を行う。
港湾整備事業(負担金)	県事業(浜名港港湾整備事業)に対する負担金を拠出した。	事業推進のため、引き続き負担金を継続する。
都市下水路整備事業	・浜松市が管理する都市下水路において、7.9mの区間で点検を実施した。	引き続き都市下水路の点検を実施し、適正な施設の維持管理に努める。
急傾斜対策事業	・県施工の急傾斜地崩壊対策事業に対する市負担金を支払った。 ・危険区域新規指定のための調査を実施した。 ・土砂災害警戒区域閲覧用システムのデータを更新した。	・急傾斜地崩壊対策事業を実施する。 ・急傾斜地指定促進のための測量調査を実施する。 ・土砂災害警戒区域閲覧用システムのデータを更新する。
水防活動事業	・浜松市総合水防演習を実施した。 ・ボート操法訓練を実施した。 ・水防団員726名(条例定数807名)を確保した。	・水防団の運営と活動支援(出水時出勤、平常時訓練、水防演習、研修会、団員表彰)を継続する。 ・引き続き水防活動に必要な団員を確保する。
水防施設等整備事業	・水防資機材等の補充を行った。 ・上島分団倉庫、浜名分団倉庫を改築した。	・浜松市水防施設整備計画に基づき老朽化した水防倉庫の改築を進める。
消防団員等公務災害補償共済事業(負担金)	・水防団員及び市民が水防活動中に災害を被った場合の補償掛け金を負担した。	・水防団員及び市民が水防活動中に災害を被った場合の補償掛け金負担を継続する。
水防団助成事業	・水防団本部及び分団(17分団)への交付金を交付した。	・水防団本部及び分団(17分団)への交付金交付を継続する。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	要
土のうステーションの稼働数(基) 見直し内容:稼働数(基)から充足割合(%) 理由:土のうステーションは自助を支援する事業である。変更前の指標は、自助を実施した割合であったため、自助を支援できているかを量る指標とする。 その他:2026年度実施計画で見直し済み 総合雨水対策計画における対策メニューの実施数 見直し内容:指標の定義 (対策メニュー144項目→140項目) 理由:指標の定義に関する標記の誤りがあったため その他:2026年度実施計画で見直し済み	

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

河川維持修繕事業、ポンプ場等維持管理事業、浸水対策支援事業、都市下水路整備事業及び水防施設等整備事業については、事業の指標の進捗は順調であった。引き続き河川施設の能力を維持するとともに、頻発化する水害を踏まえ、市民の自助共助の支援や水防機能向上を推進する。 河川改良事業については、活動指標及び短期成果指標の進捗が遅れているため、国への要望活動等により十分な予算確保に努め、計画的かつ着実な事業進捗を図る。 急傾斜対策事業については、活動指標とした土砂法における区域指定(ソフト対策)は0%であった。区域指定する静岡県に指定を促進し、指定にあたっては本市が担う役割は遅滞なく実施する。一方、急傾斜地対策崩壊対策事業(ハード対策)を継続し、安全度を高める対策を推進する。
